



くすのき

笠岡市立大井小学校
学校だより
令和2年6月

子どもたちの安全・安心

5月25日（月）に学校が再開となり、校内に子どもたちの元気な声と笑顔がもどってきました。新型コロナウイルスと向き合い、新しい学校生活の取組を行いながら、子どもたちは学習・運動に元気に取り組んでいます。

長期に及ぶ臨時休業で、学習面・生活面で保護者の皆様・子どもたちも不安や心配が多いと思います。これは私たち教職員も同じです。前例のないこの状況の中、私たち教職員は、「どうすれば子どもたちにとってよいのだろう」と考えながら、様々な対応を行っています。判断の最優先は「子どもたち」です。子どもたちの安全・安心を考えた対応を今後も行いたいと思っています。保護者の皆様や地域の皆様には、この趣旨をご理解いただき、今後の対応等にご支援・ご協力いただければ幸いです。そして、この状況の中でできる限りの学習や活動を行い、子どもたちにとって充実した日々になればと願っています。

今後も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

みんなで仲良く学校探検

6月4日（木）1年生・2年生・なかよし・すこやか学級の全員が「学校探検」を行いました。1年生は学校の施設の正しい使い方を知ること、2年生は1年生を思いやる気持ちをもつこと、なかよし・すこやか学級は自主性を育むことなどを主なねらいとしておこないました。

1年生は、2年生の子どもたちの言うことを良く聞き、2年生やなかよし・すこやか学級の2年生以上の子どもたちは、1年生に温かく接し、お兄さんお姉さんとして、しっかりお世話をすることができました。

1年生の世話をすることを通して、「自己肯定感」を育てるよい機会にもなりました。



ふわふわ言葉「ありがとう！」は最高のほめ言葉

4月号でもお知らせいたしましたが、本年度の学校教育目標のキーワードは「自己肯定感」です。これを育成するために、学校では子どもたちや学年の実態に応じた取組を行っています。そのひとつは昨年度も行った「ふわふわ言葉」です。これを意識してしっかり子どもたちに声かけをすること。さらに、自己肯定感が育成できる「場の設定」を行うことです。

ご家庭でも、この「自己肯定感」を育てることを意識してみてください。その方法のひとつは、よく言われますが「ほめる」ことです。「ほめる」とは、子どもを評価することではなく、子どものがんばり・努力・成長を見つけてその喜びを伝えていくことです。「頭の良さ」「能力」をほめることではありません。その最高のほめ言葉は「ありがとう」です。「ありがとう」はお礼の言葉であると同時に最高のほめ言葉です。ちょっとしたことでもいいです。「ありがとう」をしっかりご家庭で使ってみてください。

自己肯定感を高めよう！「ふわふわ言葉」と「場の設定」

ありがとう！ おおー！ さすが！ すごい！ なるほど 確かに いいなあ そうだよね 言えてる！ やったね それぞれ！ ナイス！ 成長したね 助かるわ 頼りになるな 面白い（考えだ）ね 感動した！ がんばったね！ 良かったよ 知らなかった！ バッチリ！ 大丈夫ですよ ホットした 得意だね うれしい それ好きだなあ あなた（たち）だからできたんだね 上手だね (R2 大井小学校)



全教職員がこのカードをもち、取り組んでいます。

新型コロナウイルス対応！

学校では、新型コロナウイルス対応として、様々な対応に取り組んでいます。三つの「密」を回避するための声かけはもちろん、校内の定期的な消毒・換気や手洗いの徹底、座席の間隔の確保、給食時には会話は控える、心のケア、校内にコロナ対応を意識できる環境整備等です。ご家庭でも、朝の体温チェック、マスクの着用の声かけ等のご対応ありがとうございます。今後も、感染防止の対応・意識づけをよろしくお願いいたします。



(英語ルーム 英語でマスク着用のよびかけ)



(手洗い 赤いテープで間隔の確保)



(黒板 手洗い等の意識付けのイラスト)